

KSKP

たびだち つうしん

出

発

通

信

161号

NPO法人 出発のなかまの会



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物認可
毎月 1・2・3・4・5・6・7・8の日 発行

もくじ
目次

サラダボウル・プログラム	2
郡山、Mさんありがとう!	4
「ととりの木」移転1周年に寄せて	5
デンマークキャンプ2017in焼津に参加して	6
焼津キャンプに行きました	8
私たちは地域で暮らしているんだ	9
どんどん新聞	10
ヘルパーさんいないとこまること	11
NPO総会&どんどん総会を終えて	12
スタッフ子育て日記	13
助成金報告	13
活動のあと	14

サラダボウル・プログラム

生野区のまちづくりセンターがおこなっている「まちカフェ」を昨年、松野農園でおこないました。そこに参加されていた生野区に在住しているインドネシアからの留学生が、“松野農園の畑を利用して多文化交流をしたい”ということをお願いされました。

生野区では外国人という和在日韓国・朝鮮人がイメージされがちですが、52の国・地域の人々が住んでいるそうです。生野区内にそれだけたくさんの国・地域の人たちが住んでいながら、なかなか交流する機会もないということもあって、野菜の栽培や収穫した野菜を調理して食べるという活動を通して交流を持つ「サラダボウル・プログラム(多文化交流)」を5月からはじめました。

「サラダボウル」はニンジン、キャベツ、トマト、レタス、ブロッコリー・・・などひとつひとつ違った野菜であっても、お皿(ボウル)の中に入れば「サラダ」になることから、いろいろと国は違ってもひとつの「サラダ」になろうという趣旨で命名されました。

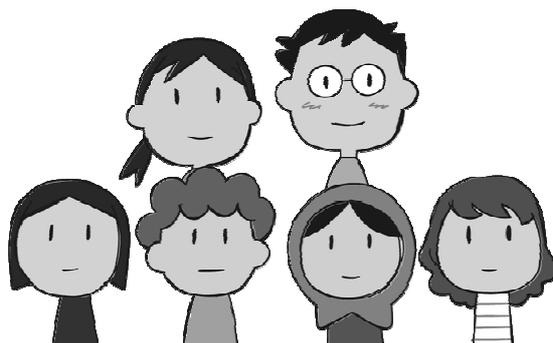


5月にナスとミニトマトを定植してスタートし、月に2回程度の割合で活動してきました。その時々で剪定をしたり、肥料を撒いたり、畑作業だけではなくインドネシアの文化について学んだり、国によって違う野菜の調理方法についての話をしたりと、まさに「多文化交流」活動を続けてきました。そして、7月22日に「サラダボウル・プログラム」で育てたナスとミニトマトを使って「収穫祭」を開催しました。ナスは天婦羅と味噌炒めに、ミニトマトは卵とじにしました。インドネシア料理の「テロン・サンバル(ナスの唐辛子炒め)」と「テロン・バカル・サンバル・ケチャプ(焼きナスの唐辛子ソースがけ)」の2品をインドネシアの参加者はつくって来てくれました。ナスはインドネシア語で「テロン」と言うのだそうです。在日韓国人の参加者はオモニ(お母さん)につくってもらった「ネング」という日本の冷やし汁に似たスープと野菜たっぷりの「タコフェ(タコの唐辛子味噌あえ)」の2品を持って来てくれました。どれも暑い夏にぴったりの料理で食がすすみました。たくさん炊いたご飯は参加者みんなでおにぎりを握りました。インドネシアの留学生の参加者はおにぎりを握ったことがなく、はじめての体験をしました。「あつい、あつい」「手にくっつく～」など言いながら、みんなで和気あいあいとおにぎりを作りました。

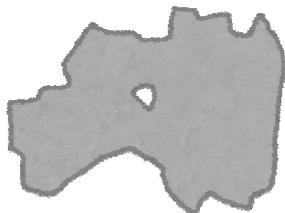
「サラダボウル・プログラム」の留学生メンバーが、みらくるちっぴの活動にボランティアとして参加するなど交流もひろがりつつあります。普段は大学院に通ったり、生野区内にある日本語学校で日本語を学んだり、日々、日本語や日本について勉強・研究に励んでいます。インドネシア国内ではたくさんの民族が存在するため、それぞれの地域で言語や文化が異なるそうです。参加したインドネシアの留学生もそれぞれに異なった民族に属しているため、普段は共通語であるインドネシア語で話をするそうです。異なった民族の言語はわからないということでした。インドネシアは国そのものが「サラダボウル」であるということを実感する話でした。

世界を見渡せば拡大しすぎたグローバリズムの反動として、排外主義的な動きや難民・移民における排斥問題など多文化交流とは反するような事態が次々と起こっています。国内においてもヘイトスピーチの問題が今なお噴出しています。さまざまな分野での格差は縮小していくどころか、ますます広がりをみせているのではないかとさえ思えるような事態が続いています。そういった中だからこそ、わたしたちが掲げている「誰もが住みやすい排除されないまちづくり」を実践していきたいと思います。「誰もが」の中にはもちろんそこに住んでいる外国人の方も含まれているはずで、言語や文化、慣習等の違いは違いとして認め合い、多様なあり方や寛容な場をつくっていくためにも「サラダボウル・プログラム」を通して多文化共生に取り組んでいきます。

(トオル・Y)



こおりやま
郡山、M さんありがとう！



7月15日～22日までの1週間、福島県郡山市の『NPO法人あいえるの会』より、Mさんが研修のため来阪されました。脳性麻痺で常時介助が必要なため最初の2日半はあいえるの会の職員さんが同行、以後は大阪のボランティアで介助を募ることとなりました。「僕の介助をやって

ください」というチラシを作成され、集まった介助者は約20名。研修期間中に関わったボランティアを含めると40名ほどの人そして6団体の事業所が関わることとなりました。「あ・か・さ・た・な」と50音でコミュニケーションをとるMさんに、始めは試行錯誤だったボランティアも彼の魅力にはまってしまったのか、「もっと話したい」、「いろんな話をききたい」と列をつくって話す順番を待っていたり、夜中まで飲み歩いては彼の思いに耳を傾けたり。Mさん自身も3事業所を回るハードな研修スケジュールにも関わらず、「日々の記録を残しておきたい」と連日夜の2時頃まで記録を作成。常時介助が必要な彼が、慣れていない介助者ばかりの中に飛び込む、夜遅くまで記録を作成する、くたくたの状態で「絶対研修やりきる！」と言ったMさんの思い、態度に多くのボランティアが触れることとなりました。

一人暮らしをしたいという思いはあるも慢性的な人不足の郡山の現実。介助者が足りない現実を抱え、それでも「大阪と福島の福祉の違いを見てみたい」と今回の研修を決断したMさんの行動は、私たち大阪のボランティアにいろんなことを考えさせてくれたように思います。制度の充実した大阪と地方の当事者の生活。こちらでは当たり前と思える自立生活がままならない現実。地域生活を支える仕事をしながら、まだまだ多くの方々自分らしい生活ができていない現実があるということを知っておかなくてはなりません。日頃の支援を考えるきっかけにしたり、自分たちに何かできないかと考えたり、思いを馳せ行動する。障害者だけが当事者なのではなく、自分らしい生活がままならない社会をつくっている自分たちもまた同じ社会の当事者なのだという意識をもたなければ、何も変わらない。

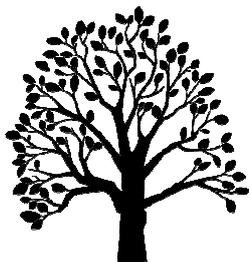
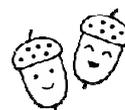
「失っていた自信を取り戻すことができました」

研修を終え、そう感想をくれたMさんのこれからの生活を応援したいという思いが、関わった人たちのそれぞれの力になり、それぞれの思いがさまざまにつながりになる。そんなきっかけをくれたMさん、ほんとにありがとう。大阪と郡山、まだまだつながり続けますよ。



(マサヤ・M)

「ととりの木」移転1周年に寄せて



昨年10月に、はたらく・つながる「ととりの木」を開所し、早いもので1年が過ぎようとしています。「ととりの木」での活動もこの1年でさまざまなことがありました。

まずなんと言っても、新たな活動“ランドリーサービス”が11月にオープン！メンバー・スタッフみんなでチラシ配りに行ったり、お客様からの電話をドキドキしながら待ったりしていたのを懐かしく感じます。毛布やシーツ等、季節の変わり目を中心に依頼が増えてきました。

最初は奈良県・平群の野菜や焼き芋を不定期に売っていた販売活動も、泉州の野菜や手作りの小物や雑貨などの品物を増やして、今では毎日店を出しています。

納会、節分、そうめん流しなどの季節行事は「ととりの木」で新たに始めました。近隣の事業所にも声を掛け、交流も増えてきました。

移転当初は戸惑いが見えたメンバーも、自分の得意なことを見つけて積極的に活動しています。店長として販売に精を出し、暑さ寒さにも負けず外に出て、呼び込みに、接客に、店前の掃除に努めているTさん、机・椅子並べや食器拭きを上手に行うOさん、毎日美味しいスープを作るNさんなどなど、軽作業以外にもそれぞれの個性に合わせて居場所や役割が見えてきました。

そんな1年を振り返ると、新しく移ってきた私たちがだんだんと“地域と繋がる”ということを実感できる年だったように思えます。ランドリーを口コミで勧めて下さる方がいらしたり、野菜販売のお客様からランドリーの依頼をいただいたり、たまたま道に迷ったメンバーを助けて下さった他事業所と野菜販売や交流で繋がったり、思わぬきっかけで“地域との繋がりが広がっていくことに驚きました。「ととりの木」が少しずつ新しい地域に根を下ろしていることを実感するとともに、そこには地域に交わっていくメンバーの力や、活動を見て下さっている地域の方々の方々の力も感じずにはられません。

10月より2年目を迎える「ととりの木」ですが、生野まつりのパレードに仮装して出るなど、これからもワクワクする活動をどんどん続けていきます！より一層“地域と繋がる”ことをメンバー・スタッフ一丸となって楽しみながら取り組んでいきたいと思っております！

(ヨウイチ・Y)

デンマークキャンプ 2017in^{やいづ}焼津^{さんか}に参加して

昨年、当会も大阪上映会の際に関わらせていただいたドキュメンタリー映画『リース遠征隊』のメンバーと、彼らが通っていたエグモントホイスコーレ（障がい者と健全者が共に暮らし共に学ぶ学校）メンバーと過ごすデンマークキャンプ in 焼津（7月27日～30日）に、当会からメンバー2名、職員1名が参加した。私はヘルパーとして参加させてもらった（キャンプ中はチームに分かれるので当会のメンバーも職員もバラバラに分かれて、サポートするのもされるのも今回はじめて会った人だった）。

今回のキャンプを通してデンマーク・エグモント流の支援・介助に触れた率直な感想は「嫉妬」。困っていたら当たり前前にヘルプをお願いして、当たり前前にサポートして全力で今その時を楽しむ。それをごく自然に恰好よくやってしまう。簡単なことだけど日本ではそれが難しい……。まず、「何かあったらどうする？」、「責任は誰が持つ？」、「リスク回避で！」となってしまうがち。

デンマークでは、介助は障がい者本人の自己責任のもとに行われるものであり、何か問題が起きた場合は介助を依頼した人が責任を負う。「〇〇だからできない」ではなく、「△△してもらえればできる」という感覚が当たり前で、障がい者自身何ができないかを知って頼る。「言わなきゃやれないだろ。だからちゃんと言えよ！そしたら万全を期して介助するからー」っていう関係だからこそサポートもしやすく、バリアフリーも関係ない。この部分でも日本だと空気を読むことのほうが重視されていて、障がい者側が「申し訳ないですが……」となってしまう。

エグモントホイスコーレでは、「よき人生」を実現することが求められており、ここでいう「よき人生」とは、自分の人生を自ら決定し、社会的に価値ある活動を通して、一人の人間として全うすること。なので、障がい者も健全者も、男性も女性も、デンマーク人も日本人も、皆同じ場所に立っていて、自己主張し、認め合い、支えあい、泣き、笑い、そしてビールを飲む（笑）。単純にそのあたり前さ、感覚が新鮮で羨ましい。

自分達は支援してやっているという目線になっていないだろうか？

キャンプに参加した当会のメンバーは、ハードな行程だし疲れて絶対に途中でダウンすると
 思っていたが、楽しさや挑戦したい気持ちとこの場の刺激が優ってプログラム全てに参加。
 そして言葉の壁も超えてデンマーク人と楽しくビールを飲む姿、男前のデンマーク人に
 積極的にアプローチする姿を見て、「これが本来あるべき姿で本人らしさなんだな」と今
 更ながらに実感。同時に自分自身も楽しいと思っていて、その空間を共有している嬉しさも
 あり、このことが今まで足りていなかった部分ではないかと思ったりもした。

実のところ、自分自身が現状の支援のつまらなさや行き詰まりや限界を勝手に決め込んで
 諦めモードになっていた部分もあったが、「ジブンモ、タノシマナイデドウスル」とエグモン
 トの連中に背中を押されて、リース遠征隊の映画を見てYの言っていた『要は山に登らなき
 やいけないのは、今なんだよ！（今しかできないから全力でやるだけ。
 次にできるか分からないから）』に奮い立たされる。



なによりキャンプを通して、メンバー自身がまだまだ潜在するパワー
 や魅力そして底力を証明された。当会のメンバーも全体的に「もう歳
 やし〜、若くないから〜」といった声がちらほら聞こえてきているが、まだまだやれるし、そ
 れこそ今に全力を注ぎ、もっともっと楽しいことみつけて欲張って人生を謳歌していかなア
 カンと思った次第。同時にそんなメンバーのパワーに負けないくらい支援者も楽しみ「福祉」
 に対する世間の見方も自分達で変えていきたい。

そういえば、今年度のグループホーム部門の目標は「楽しめ俺たち〜」じゃないか！！

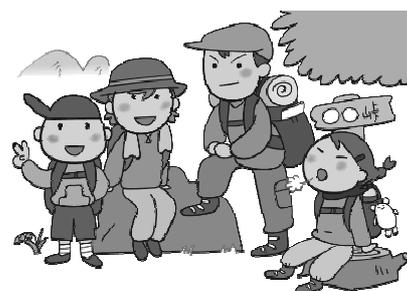
(ミノル・T)

焼津キャンプに行きました

わたしはメイちゃんと K さん T さんと焼津高校やいづこうこうに行きました。受付うけつけをやりました。チームに行きました。M さんがずっといっしょにいました。つりをやりました。たのしかったです。

デンマーク人じんによるアクティビティをやりました。D さん S さん A さんがいました。I さんのところに行きました。海うみに行きました。楽しかったです。わたしは なみが つよすぎてびっくりをしました。M さんがよびにきてくれました。また海うみに行きました。A さんと写真しゃしんをとりました。私はカヌをのりました。わたしは 3 人でカヌをのりました。そのあとおふろに行きました。そのあとゆかたをきました。そのあと七夕祭りたなばたまつに行きました。音楽おんがくをみました。わたしは M さんと写真しゃしんをとりました。わたしは七夕祭りたなばたまつはさいごにみんなで写真しゃしんをとりました。わたしは七夕祭りたなばたまつがおわったあとタクシーでかえりました。わたしはお寺てらまであるきました。

わたしはあさから M さんといっしょとさんに登山とさんに行きました。ボランティアさんとあるきました。わたしは D さん S さん A さん T さん、M さんがみんなおうえんとさんをやってくれました。わたしは登山とさんのところとさんでなみだぐれました。わたしは M さんとあるきました。わたしは登山とさんの公園こうえんに行きました。わたしは公園こうえんでゆっくりをしました。かえりはくるまでかえりました。わたしはお寺てらにかえりました。



わたしは上映会じょうえいかいのまえにおふろに行きました。ひるごはんをたべました。そのあとリース遠征隊えんせいだい上映会じょうえいかいを 2 日目ふつかめをみました。わたしは上映会じょうえいかいはたのしかったです。みんなのはなしをきました。わたしは大阪おおさかで上映会じょうえいかいをやったときにはなしがはやすぎてわかりませんでした。わたしは焼津やいづでリース遠征隊えんせいだいで上映会じょうえいかいをみました。こんかいはみんなのはなしがわかりました。わたしはリース遠征隊えんせいだいのみなさんと写真しゃしんをとりました。D さん S さん N さん Y さん I さん A さんと写真しゃしんをとりました。わたしは懇親会こんしんかいに行きました。みんなでおはなしをやりました。わたしは A さんからメダルをもらいました。わたしは A さんからメダルをもったことがうれしかったです。I さんと写真しゃしんをとりました。わたしは M さんと写真しゃしんをとりました。わたしはみんなではなしをやりました。たのしかったです。

わたしはさいご報告会ほうこくかいをやりました。みんなではなしをやりました。わたしはキャンプのはなしをやりました。みんなでキャンプの写真しゃしんをみました。キャンプの写真しゃしんはたのしかったです。

M さんがいっしょにおはなしをやってくれました。わたしは M さんにあってうれしかったです。わたしはリース遠征隊えんせいだいのみんなにあってうれしかったです。わたしはキャンプにいける

とおもっていませんでした。わたしはリース遠征隊にひさしぶりにあいました。うれしかったです。わたしはDさんSさんNさんははじめってあいました。わたしはみんなにあえてよかったです。わたしはこんかいのキャンプはたのしかったです。わたしは名刺さんとくばりました。わたしはさいごにAさんと写真をとりました。



わたしは焼津のまえからバスにのりました。わたしはにもつのことはあんまりわかっていませんでした。わたしは焼津の電車のなかでリュックのことをわすれられていることがわかりました。わたしはTさんにリュックのことをみました。Tさんが電話をやりました。わたしはKさんTさんわたしは天王寺からタクシーで大池橋までかえてきました。わたしは焼津からリュックがかえてきました。わたしはきららメダルの写真をとりました。 (ユカ・K)

キャンプに参加したメンバーが感想を書きました。
 個人の名前以外は原文のまま掲載しています。
 「メイちゃん」は感想を書いたメンバーがいつも持ち歩いている人形の名前です。



わたしたちは地域で暮らしているんだ



5月にグループホームきららに転居したKさん。これまで、平日はグループホームでお昼ごはんを用意して食べていましたが、転居を機に毎日お昼ごはん代をもって、その日のお昼ごはんを買いに行くことになりました。お金を使うのが上手なKさんは、コンビニにスーパー、自転車に乗って遠くの激安スーパーへと毎日好きなものを買いに行っています。この間は、「金曜日はほか弁を食べたいから、木曜日は安いのにしているねん」と、得意気に教えてくれました。そういえば木曜日にカップ麺を食べているのを何度か見たなあ。お昼ごはんを節約して100均でビールを買うこともあって、Kさんが毎日やりくりしながらお昼ごはんを考えている姿が目につかび、こちらでも楽しくなってきます。「今日は何にしたん？」と話の種も増え、外に出ていくきっかけにもなっています。

小さなことでも何かひとつ変えるだけで、生活が広がることってたくさんあって、そこが支援の面白さでもあるなあと感じています。

(トモコ・I)

とんとん新聞 No.157 から抜粋しています

とんとん新聞 No.157



発行日 2017年 9月 11日
発行所 自立生活センター・とんとん
大阪府生野区田島1-10-30
tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749



ILPおしゃれ編、はじめました。

日時:2017年5月13日(土) 場所:生野区民センター

とんとんのメンバーは、おしゃれ好きが多いです。しかし、難しくて困る時があります。どうすれば、もっとおしゃれを楽しめるのか? ILPおしゃれ編をすることになりました。

今回は、謎のおしゃれ男性が講師として来てくれました。名前は、「シャレタ シャレゾウ」さんです。おしゃれの悩みなら何でも答えてくれます。「おしゃれしたいけど自分が好きな服を親は嫌がります。どうしたら良いですか?」と質問したのはIさんです。Iさんはガイコツのアクセサリーやダメージ加工のジーンズが大好きです。でも、好きな服を着ると親が嫌がる、近所で悪口言われると考えています。自分が着たいと思う服を着ることが出来ません。どうしたら良いでしょう? シャレタ シャレゾウさんも悩みながら「自分が着たい服を着たら良いですよ。たとえ親が嫌がっても」と答えました。

Kさんは革ジャンをカッコよく着こなす方法を聞きました。おしゃれの悩みはひとりひとり違うことが発見できました。

ワークでは、自分の顔写真にファッション雑誌の切り抜きを貼り、理想のファッションを考えました。I・Nさんは色々な雑誌を見ながら考え込みます。黄色のノースリーブワンピースを見つけると「これ!」という感じで指さしていました。T・Tさんは相撲の化粧まわしを貼りました。デートしたい女性の名前と好みの服装の写真も貼っていました。Yさんは気に入った写真を見つけると楽しそうに貼り付けました。初参加のTさんは白いシャツの写真をていねいに切り抜きました。

後日、とんとん会議でILPおしゃれ編の振り返りをする時、Iさんの悩みが話題になりました。このおしゃれ編で、自分が本当に好きな服を堂々と着こなせるように頑張ります。



ヘルパーさんいないとこまること



- ①朝^{あさ}ひとりでおきれません
- ②かみのけくくってほしい
- ③ふく なにきていくか そうだんのってほしいです
- ④はみがき じぶんでするけど しあげみがきしてほしい
- ⑤くすりのむとき いっしょにかくにんしてほしい
- ⑥おふろのとき かみのけあらってほしい
- ⑦しんどいとき そうだんする人いないとこまります
- ⑧よるねにくいときに そばにいてほしい
- ⑨おりがみとかおかしづくり ヘルパーさんといっしょにしたい
- ⑩せんたくもの ぜんぶするのんたいへん てつだってほしいです
- ⑪エアコンのたいまのおんどが自分^{じぶん}ではできません
- ⑫そうじじぶんでもするけど できひんとこてつだってほしい
- ⑬ヘルパーさんといっしょにシェフ（ごはんづくり）したいです
- ⑭ヘルパーさんとスケジュールのかくにん いっしょにしてほしいです
- ⑮しんどくなったときに びょういんいきたいとき つういんきろく かいてほしい
- ⑯おこづかいじぶんではいさんするけど いっしょにかくにんしてほしいです
- ⑰けがしたり、やけどしたとき ヘルパーさんいないとどうしていいかわかりません
- ⑱ヘルパーさんといっしょにおしゃべりしたい
- ⑲朝^{あさ}しごとおくれるとき、やすむときに ほいくえんにでんわしてほしい
- ⑳しんどいときとか びっくりしたときとか ふあんなとき ないてしまう ヘルパーさんはなしをきいてほしい

(リズム・T)

グループホームにおいて個別^{こべつ}に居宅介護^{きょたくかいご}（ヘルパー）を利用する制度^{りよう}は、
 経過措置^{けいかそち}とされたままです。7月31日におこなわれた障害^{しょうがい}当事者^{とうじしや}と
 大阪府^{おおさかふ}との話し合い^{はな あい}の場^ばである「大阪府オールラウンド交渉^{おおさかふ こうしやう}」で、
 個別ヘルパー制度^{こべつ}の恒久化^{せいでんこうくわ}を求めてヘルパーの必要性^{ひつようせい}を訴^{うた}えました。



NPO 総会 & どんどん総会を終えて

2017 年 5 月 27 日(土)に KCC 会館 5 階ホール(生野区)にて、第 18 回定時総会をおこないました。当日は 112 名の出席(うち委任状出席者は 22 名)で、定款に定める総会として進めることができました。今回も、たくさんの写真をスクリーンに写して事業報告や事業計画の説明をおこないました。文字だけではわかりにくいことも、写真を見るといろいろ思い出して、「あんなことやったね!」「おもしろかったわ!」と楽しみながら 1 年間を振り返ることができました。説明するスタッフもいろいろな人の活動の様子を伝えたいという思いから、つつい時間がおしてしまいます。続いて、決算報告や予算についての説明、役員就任・辞任、定款変更についての報告をおこない、承認されました。事業報告では、生野区 巽西にできた新しい作業所“はたらく・つながる「ととりの木」”での新しい活動のことや、ひとり暮らしをはじめたメンバーのこと、「グループホームかのん」のスプリングラー設置についての報告がありました。2017 年度も、“誰もが住みやすい、排除されない社会づくり”をすすめていくこと、また、認定 NPO 法人として、社会が抱えるさまざまな問題に積極的に関わり、地域の方々と連携して、活動を進めていくことが確認されました。

後半は、自立生活センター・どんどの総会です。今回も、メンバーたちは、それぞれ役割を決め、報告や発表の練習を何度もおこない総会に挑みました。2016 年度も、たくさんのメンバーが、講演会や学校の授業で、自分の暮らしや趣味・仕事の話をしました。交渉では、事前に勉強会をおこない、自分たちの思いを届けようとがんばりました。2017 年度は、『交渉をがんばるぞ!!』『仲間を増やして助け合おう!!』『「くまもと」と「東北」の応援を続けよう!!』の 3 つの目標が決まりました。シュプレヒコールをみんなでした後は、恒例の「どんどの歌」です。メンバーのピアノ伴奏に合わせ、参加者みんなで大合唱し、総会は幕を閉じました。(ヨシミ・I)

どんどのうた

きみが ここにいる ぼくも ここにいる
 いろんなことがあるけど ちからをあわせりゃ きっとだいじょうぶ
 そんなにあわてることないさ ぼくらのペースでのんびりいこう
 どんどん どんどん どんどん どんどん
 どんどん どんどん どんどん どんどん



スタッフ子育て日記



うちの子ども3人はそろって剣道を習っています。中学生の長女、長男はもちろん学校の部活も剣道部。この数年2人は来る日も来る日も剣道ばかり。

年子の2人ですが性格は随分違うようで、去年地域の大会でそれぞれ個人戦3位になり、初戦負けした末っ子次男から「2人とも頑張ったなあ。

お祝いに外食しようやあ（後半部分が主訴）と言われ長男は「もっとトロフィー飾れるように頑張るわ〜」と嬉しそうでしたが、長女は「3位なんかいらん。優勝したいねん」と、トロフィーの箱も開けませんでした。

そんな2人は今夏、部活で目標にしていた全国大会を目指して団体戦に挑戦しました。男女とも優勝した1チームだけが全国大会に出場できます。結果は2人とも大阪3位で惜しくも全国大会への出場は逃してしまいました。今回は長男も3位では悔しそうにしています。長女は納得のいく試合ができずチームの足をひっぱってしまったといつまでも涙が止まりませんでした。

でも、夢中になれるもの、一緒に汗や涙を流してくれる先生、支えあえる仲間に出会えたことは幸せだと思うのです。先生からは「剣道が強くても意味がない。社会で役に立つ人になりなさい」と教えを受けています。長女は中学3年生なのでいろいろと進路を考えているようで「夢とかやりたいこと決まってる人はええなあ」と言っています。これから、どんな夢を描くのか分かりません。どんな道でもまっすぐ前に進んでいけばまたきっと素晴らしい出会いがあるのではないかと楽しみにしています。

(ユカ・S)

助成金報告

平成29年度「大阪市生野区社会福祉協議会 善意銀行事業【先駆的事业】」より15万円の助成が決定しました。ありがとうございます。本助成金は「松野農園」の備品購入に充てられます。

活 動 の あ と

5/2 Eプロジェクト会議(どんだん)	7/1 内部研修(発達障害勉強会)
5/6 内部研修(発達障害勉強会)	7/4 NPOちゅうぶ合同研修会/三重大学講演(どんだん) 相談支援事業の立上げ研修①
5/8 生野区子育て社会化研究会	7/4~28 「ざわめき」と「しずけさ」の融けあう場所展 vol.3(区民 ギャラリー)
5/9 成年後見制度学習会	7/5 執行委員会/被災シミュレーション研修
5/10 生野区グループホーム連絡会世話人会	7/6 どんだん学習会(対府交渉①)
5/11 執行委員会	7/7 グループホームスタッフ全体会議 障大連・大阪市ブロック会議学習会
5/12 グループホームスタッフ全体会議/出発通信発送	7/8 みらくるランチ会(松野農園)
5/13 ILP(自立生活プログラム)講座【おしゃれ編①】 みらくるランチ会(松野農園) サラダボウル・プログラム(松野農園)	7/9 サラダボウル・プログラム(松野農園)
5/15 理事会	7/10 対府交渉総決起集会・デモ行進/要保護児童対策地域協議会
5/16 作業所ミーティング/みらくる学習会	7/12 生野区グループホーム連絡会【栄養指導講習会】 生野区学童期のこども支援連絡会
5/18 英会話教室(松野農園)/生野区学童期のこども支援連絡会	7/14 Eプロジェクト会議(どんだん)/読書会(松野農園)
5/19 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン	7/15 近畿大学『環境まちづくりプロジェクトミーティング』講演
5/21 みらくるクラブ【木登り】(住之江公園)	7/15~22 バンブープロジェクト(福島よりMさん受け入れ)
5/22 障大連・事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議	7/18 沖縄旅行報告会/大阪市有償ボランティア団体連絡会講演
5/22~24 Nさん東京旅行	7/19 桃栗館親の会
5/24 生野区NPO連絡会 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)	7/20 どんだん学習会(対府交渉②)/障大連グルホ世話人研修会
5/25 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスモンテ)	7/21 和楽苦荘・かのんケア会議
5/26 とんぼまる・桃栗館ケア会議 障大連運営委員会/地域共生ケア生野推進委員会	7/21 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン
5/27 NPO総会・どんだん総会/月川さんを偲ぶ会 サラダボウル・プログラム(松野農園)	7/22 松野農園交流会(松野農園) サラダボウル・プログラム収穫祭(松野農園) NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク全国 の集い実行委員会準備会/生野区NPO連絡会総会
5/30 NPOちゅうぶ合同研修会	7/23 みらくるクラブ【高取山キャンプ事前活動】(金剛山)
5/31 内部研修(ワンポイント講座)	7/24 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議
6/1 生野区学童期のこども支援連絡会役員会	7/25 作業所ミーティング/相談支援事業の立上げ研修②
6/2 内部研修(アンガーコントロール研修) Eプロジェクト会議(どんだん) ランチタイム交流会(生野みんなの家と合同企画)	7/26 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)
6/3 内部研修(発達障害勉強会)	7/27 内部研修(DVD上映会) 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスモンテ)
6/3~11 合同絵画展(奈良・アビタ西大和店)	7/27~30 デンマークキャンプ2017in 焼津
6/5 執行委員会	7/28 障大連運営委員会/地域共生ケア生野推進委員会
6/7 不登校を考える会/絵画展アーティストトーク	7/31 大阪府オールラウンド交渉①
6/9 グループホームスタッフ全体会議	8/1 てんかん研修受講
6/10 ILP(自立生活プログラム)講座【おしゃれ編②】 みらくる中高生の会(松野農園) サラダボウル・プログラム(松野農園)	8/2 執行委員会
6/13 内部研修(電話対応講座)	8/3 大阪府オールラウンド交渉②
6/14 内部研修(ワンポイント講座) 生野区グループホーム連絡会	8/4 グループホームスタッフ全体会議
6/15 自然災害への備えに関する要配慮者利用施設管理者向け 説明会 生野区学童期のこども支援連絡会	8/5 ILP(自立生活プログラム)講座 【おしゃれ編④ファッションショー】
6/16 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン 読書会(松野農園)	8/6 みらくるクラブ【高取山キャンプ準備会】
6/17 松野農園交流会(松野農園) NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク全国 の集い実行委員会準備会	8/7 大阪府オールラウンド交渉③
6/18 みらくるクラブ【ハイキング】(二上山)	8/8~9/29 Tさん五十歳記念展(生野区民センター)
6/20 作業所ミーティング	8/9 内部研修(てんかん発作①)/生野区グループホーム連絡会
6/21 生野区学童期のこども支援連絡会役員会	8/10 Sさん支援会議/内部研修(てんかん発作②) 奈良県生駒市広報課取材(松野農園)
6/22 障害者防災リーダー養成講座受講 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスモンテ)	8/17 内部研修(発達障害勉強会)
6/23 きらら・らいすケア会議 Nさん東京旅行報告会/障大連運営委員会	8/18 食と農のプロジェクトをすすめる会/ドロン
6/24 サラダボウル・プログラム(松野農園)	8/20 第23回全国の集い in はちのへ 2017 大阪プレ大会
6/26 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議 生野区子育て社会化研究会	8/21 内部研修(ワンポイント講座)
6/28 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)	8/22 作業所ミーティング/そうめん流し交流会
6/28~30 沖縄旅行	8/23 生野区NPO連絡会
	8/24 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(フェリスモンテ)
	8/25 とんぼまる・桃栗館ケア会議 障大連運営委員会/地域共生ケア生野推進委員会役員会
	8/26 読書会(松野農園)
	8/26~27 みらくるクラブ高取山キャンプ
	8/28 事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議 デンマーク報告会
	8/29 喀痰吸引等安全委員会
	8/30 成年後見学習会

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎月 1・2・3・4・5・6・7・8の日 発行
 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二 東興ビル4階

へんしゅうこうき
編 集 後 記

うだるような暑さが過ぎ、朝晩はかなり過ごしやすくなって、「秋」を感じる日が増えてきました。

さわやかな風の中、特急電車を見かけ、ふらりと遠くに行きたいなあ、と妄想中です。

(マヤ・Y)

編 集 人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

〒544-0011

大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内

TEL 06-6758-6641

FAX 06-6758-6749

郵便振替 00910-9-306080

(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)

Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp

ホームページ http://www.tabidati.jp/

700部